

# 憲法9条を守れるかどうかは、私たちの地道な草の根運動と世論の高まり

## 医療生協九条の会が第5回総会と学習会

2/23(火) 医療生協九条の会が第5回総会と学習講演を開き、組合員さんら32人が参加しました。第1部は学習講演で、憲法9条を守る和歌山県民の会事務局長の坂本文博氏に「新政権下の9条をめぐる動き」について学びました。坂本氏は、鳩山首相はもともと改憲論者であること、民主党のマニフェストでは、憲法改正について慎重かつ積極的に議論するとなっているものの、連立政権合意では憲法改正を封印している状況で、慎重な対応をせざるをえない背景には、9条を守る草の根運動と世論の力をであることを強調しました。しかしながら、解釈改憲への危険性があり、9条を形骸化する動きが、この間の沖縄・普天間基地問題や米軍関連の予算が自公政権時代より491億円増えていること、国会法の改悪のねらいなどもあり、注意を払う必要があるとのべました。また、アメリカや財界の改憲への圧力が変わっていない中、9条を守れるかどうかは、全国7500の九条の会、和歌山では90ある九条の会をさらに広げ、9条を守る地道な草の根運動をすすめようとしめくりました。

第5回総会は、2009年の活動報告と2010年の活動方針が提案され、拍手で確認されました。活動報告では、憲法25条、旧沢内村深澤村長を描いた劇映画、いのちの山河-日本の青空Ⅱ-の上映運動にとりくみ、602名の参加で成功させたことなどが、報告されました。

参加者の報告では、東地区宮北支部の谷口さんから、「核兵器のない世界を」国際署名は、広島や長崎の話が話題にしながら、核兵器をなくそうととりくみやすい署名であること、支部目標600筆に対して740筆あつまった。5月のNPT再検討会議までに、ぜひ1000筆に到達したいと報告しました。南地区の里崎さんは、平和夏まつりで「すいとん」をつくって、当時を思い起こし、署名にも協力してもらった。また、機関紙「健康とくらし」の手配りで協力していただいている組合員さんに、それぞれの配布先で署名を集めていただき、組合員さんの力はすばらしいと報告されました。

### 2010年の活動方針

- ①引き続き9条を守る住民過半数署名を推進します。9の日の一斉行動など統一行動日も設定しながらとりくみます。核兵器廃絶への大きな世論が生まれています。「核兵器のない世界を」国際署名運動にも参加します。
- ②学習・宣伝活動をすすめます。「支部」や「事業所」を単位に、医療生協の組合員・職員を対象とした憲法学習・宣伝活動とともに、9条を守る他団体の学習企画なども積極的に紹介し、参加していきます。
- ③「支部」や「事業所(職場)」を単位とした「九条の会」づくり、地域や他の「九条の会」との交流・

